

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	石狩空知森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の中央部よりやや西寄りに位置する石狩空知森林計画区の国有林野166,013haである。</p> <p>この地域は、夕張岳(1,668m)、芦別岳(1,727m)を主峰として、空知川、幾春別川、夕張川等の集水域となっている山地で、トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・カンバ類等が混交する天然林を主体とし、一部トドマツ・アカエゾマツ等の人工林で構成されている。</p> <p>これらの森林については、ほぼ全域が保安林となっており、桂沢湖、シューパロ湖をはじめ、多くの飲料用、農業用水等の貯水施設があることから、上流部にある国有林野は、その水源地として水源かん養機能の発揮が期待されている。</p> <p>また、森林や湖沼など自然美に富んだ景勝地が多く、富良野芦別道立自然公園等に指定されている夕張岳、芦別岳、桂沢湖及びシューパロ湖周辺等の森林、都市近郊林である利根別自然休養林等については、豊富な高山植物や優れた自然景観を有し、保健文化機能の発揮が期待され登山やスキー、森林散策などのレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。さらに、石狩平野の防風保安林については、風害等による環境の悪化防止等の機能の発揮が求められている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">350 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">13,538 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">118.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.4 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">6,421,635 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	350 ha			保育面積	13,538 ha		路網整備	開設延長	118.9 km			改良延長	0.4 km	総事業費			6,421,635 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	350 ha																				
		保育面積	13,538 ha																				
	路網整備	開設延長	118.9 km																				
		改良延長	0.4 km																				
総事業費			6,421,635 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	27,094,556 千円																					
	総費用(C)	7,550,577 千円																					
	分析結果(B/C)	3.59																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備

都道府県名: 北海道

施行箇所: 石狩空知森林計画区

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,035,771	
	流域貯水便益	1,355,113	
	水質浄化便益	2,868,491	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,533,440	
環境保全便益	炭素固定便益	2,510,395	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	87,769	
	木材生産確保・増進便益	6,757,950	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	1,641,566	
維持管理費縮減便益		304,061	
総便益(B)		27,094,556	
総費用(C)		7,550,577	
費用便益比	$B \div C = \frac{27,094,556}{7,550,577} = 3.59$		

森林環境保全整備事業 石狩空知計画区(北海道) 事業概要図

